

# しなやかな回復力のネットワークで直下型地震に備える

2017年5月23日 市古太郎（首都大学東京）

## 1.東北(石巻・女川)での女性主体の生活・子ども・なりわいの再建活動

- ・ 傷つきやすく災害の影響を受けやすいが、しなやかで強い。
- ・ 居心地のよい場所、仲間づくり
- ・ 典型的なAdaptive Resilienceの事例

## 2.ポスト東日本大震災期の東京の女性主導の防災活動

- ・ 八王子市上柚木地区：地域防災訓練での「防災グループトーク」（2014年～）  
cf. 「コミュニケーションという備え」（東京防災p.122）
- ・ 「みんなで子どもを守る」という平常時の意識の延長上に。
- ・ ちょこっと防災、防災を切り口に地域の中での他者との関係性をつくる

## 3.首都直下地震への備え：生活防衛・生活回復の視点から組み立てる！

- ・ 被害回避・直後対応への備えよりも日常的な地域活動・関係性づくりと親和的。
- ・ 市区の女性センター、男女共同参画センターの役割は大きい。

# Adaptive Resilience : 石巻市・女川町での女性主体の再建

## 1. 街角カフェ：桜

- ・障害をもつ母親グループが始めた交流と食育の空間



## 2. 菓子工房Chez Setta

- ・自慢の腕を仮設商店街で活かす！



## 3. 豆乳ベーグル

- ・美容サロンからの転職.
- ・子どもに安全でおいしいものを食べさせたい.

## 4. うみねこカフェ (女川町)

- ・集落の女性が元気になる場所をつくりたい.



## 5. ベビースマイル石巻

- ・乳幼児世帯に必要な情報と物資が滞っていた.
- ・乳幼児世帯の「サロン」をつくりたい.



# 事業報告 1：八王子市上柚木地区地域防災訓練

## ☑ 2016年度の取り組み

2016年6月21日      **プレ・ワークショップ（上柚木地区 防災訓練第2回実行委員会）**  
・ 災害時に不安なこと，災害時に地域として取り組めるとよいと思うこと。

2016年9月2日      **事前準備打ち合わせ**  
・ お母さん方がファシリテーター役を果たすための確認の場。

2016年9月25日      **上柚木防災グループトーク（第4回上柚木地区地域防災訓練）**  
・ 愛宕小学校（9:00-12:00），参加者約120名

2016年10月11日      **ふり返りの会**  
・ 市役所防災課スタッフも交えて

## ☑ グループトークのテーマ構成

- A. 【初級】 家庭での防災の取り組み（家族を守るために，どんなことをされていますか？）
- B. 【初中級】 避難所で「私にできること」を考える
- C. 【中級】 集合住宅（マンション）での生活支障と生活継続。
- D. 【上級】 避難所での地域の役割を考える

体育館

上柚木小学校 会場案内図 2016. 9. 25

自転車置き場

東門

③ 地震ザブトン

白山工業株式会社

(小学1年生以上が体験できます)



④ 防災トレーラーハウスのデザインゲーム

(URA室の方と)

復興対策として注目されているトレーラーハウスを自分でカラーデザインし、組み立てて、上柚木小学校の校庭見本に飾ってみよう。まわりには、レゴブロックで消防車など作って飾ってみよう。

⑤ 子供の遊び体験

(児童館の先生と一緒に)

避難所で、子どもはじっとしているべきかな？でも、騒ぎ過ぎてもダメですよ？どんな遊びがいいのかな？

ブルーシート (お菓子OKエリア)

① (地域の防災を考える)

講演:「多摩直下地震M7.3 による生活支障被害」  
首都大学東京 市古太郎准教授

グループトーク:「地震発生後について」

首都大学東京  
市古先生監修のグループトーク

地域住民として防災について  
一緒に話し合ってみましょう。



ステージ

② (ローリングストックとは)  
α米展示・調理

α米が食べられるようになるまでの変化を見てよう。その他、お勧めのストック食品をご紹介します。



靴は靴入れに片づけましょう。お持ちになったスリッパは履いてOKです。

トイレ

赤ちゃん

下足入れ

受付

子どもの出席表シール活用

受付

下足入れ

トイレ

赤ちゃん

入口

進行表 (壁に貼る)

スクリーン

西門

防災倉庫見学

当日は校舎の中に自由には入れません。



※ 防災倉庫内部は会の最後に見学できます。

校舎

自転車置き場

南門(正門)

プール

遊具使用禁止